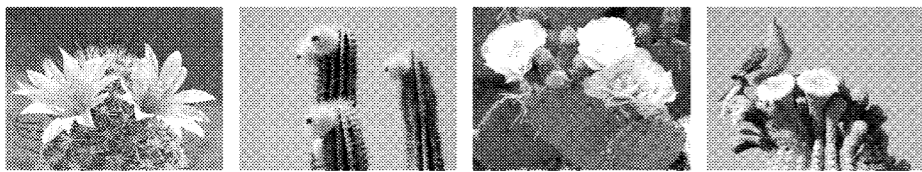


苛酷な自然にあっても、生命は花を咲かせます。



私たちは、生命の不思議を見逃しません。

キッセイ薬品は、世界の人々の健康のため、さまざまな分野の新薬の研究・開発に、とり組んでまいります。

# KISSEI

キッセイ薬品工業株式会社

本社：〒399-8710 長野県松本市野原1-48-48  
東京本社：〒100-0002 東京都中央区本町2-1-1 408号キッセイ日本ビル  
〒112-0002 東京都文京区小石川3丁目1番3号キッセイ小石川ビル  
U R L: http://www.kissei.co.jp/

シェーグレン症候群とドライマウス、前立腺肥大症と排尿障害などについての分かりやすい情報をウェブサイト上で提供しています。

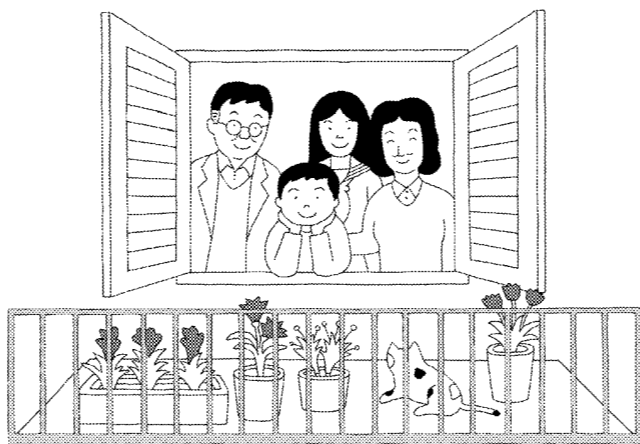
キッセイ健康劇場

人生は長い。だからこそ考えたいのは



## 健康寿命。

日本新薬は、一人ひとりの命のために、健康寿命が延びる。そんな未来のために、新しい薬を創っています。



# 人々の生活を守る

医薬品市場は新興国では急成長が見られるが検討・実施されている。国内では円高、株安と経済の低迷が続き、政府の方針に基づく後発医薬品のシェア拡大が進んでいる。

社名	売上高	経常利益	当期利益
武田薬品工業	10,811(▼4.2) 14,000(▼4.5)	3,364(▼8.9) 3,600(▼13.4)	2,154(▼16.8) 2,300(▼22.8)
第一三共	7,480( 3.1) 9,650( 1.4)	1,306( 44.1) 1,250( 21.2)	796( 2.0倍) 700( 67.3)
アステラス製薬	7,342(▼5.0) 9,420(▼3.4)	1,174(▼36.2) 1,220(▼36.1)	791(▼31.8) 820(▼32.9)
エーザイ	6,138( 1.6) 7,700(▼4.1)	1,027( 28.3) 1,070( 34.3)	673( 24.9) 700( 73.5)
田辺三菱製薬	3,195(▼0.2) 4,010(▼0.9)	693( 14.9) 670( 8.7)	392( 20.3) 355( 17.3)
大日本住友製薬	2,808( 37.8) 3,650( 23.2)	261(▼17.6) 195(▼42.4)	147(▼30.1) 110(▼47.5)
塩野義製薬	2,172( 5.2) 2,830( 1.6)	337( 1.0) 515( 1.9)	135(▼47.0) 300(▼22.3)
大正製薬	2,077( 2.4) 2,655( 2.7)	436( 42.3) 450( 22.7)	259( 64.5) 275( 41.1)

注：単位億円、上段は10年4-12月期、下段は11年3月期見直し。カッコ内は前年同期比増減率、▼はマイナス

## 製薬各社の業績見直し

さらに、後発医薬品の長期取組の追加引き下げにより、製薬会社は長期取組品の卸への仕切り価格を引き上げており、医薬品卸各社は製薬会社と医療機関の板挟みとなり価格交渉が難航、売り上げ総利益が減少し、経営悪化が懸念される。同制度の完全・恒久実施には、医療機関など関係者の理解が不可欠なだけ

製薬主要8社の11年3月期連結業績見直しは、米国の主力製薬の特許切れが減少し、後発医薬品の影響を受け、武田薬品工業、アステラス製薬、エーザイ、田辺三菱製薬が減収の見込み、武田薬品、アステラス薬

田辺三菱製薬、塩野義製薬が従来予想を維持する一方、研究開発の進捗遅れや効率化を進めた第一三共と大日本住友製薬、大正製薬が利益を上方修正した。武田薬品は引き続き米国の特許期間が満了した消化性潰瘍治療剤「プロレバシド」の大幅減収が響く、第一三共は研究開発費を中心とした減収が響く、塩野義は海外子会社の減損損失や事業構造改善費用などの特別損失、前期の株式交換益がなくなり、当期利益は減収となる見込み。大正製薬は、研究開発費や広告宣伝費を見直した結果、経常利益、当期利益が増加する見込み。

11年3月期連結業績見直しは売上高1兆1380億円(前期比5.0%増)、経常利益1290億円(同18.3%増)、当期利益977億円(同2.2%増)を見込む。セグメント別は公表していないが医療事業売上高は7397億7966億円が想定される。

## 「子宮内膜症」治療に新たな選択肢を



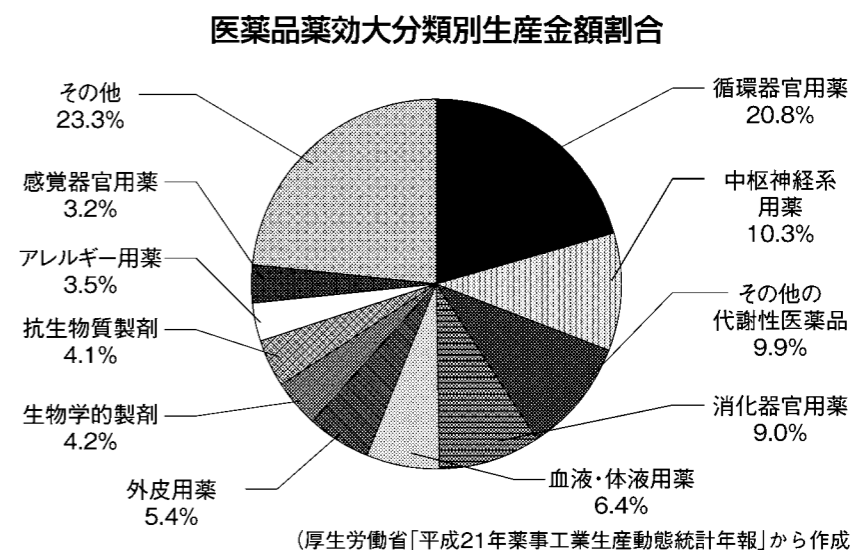
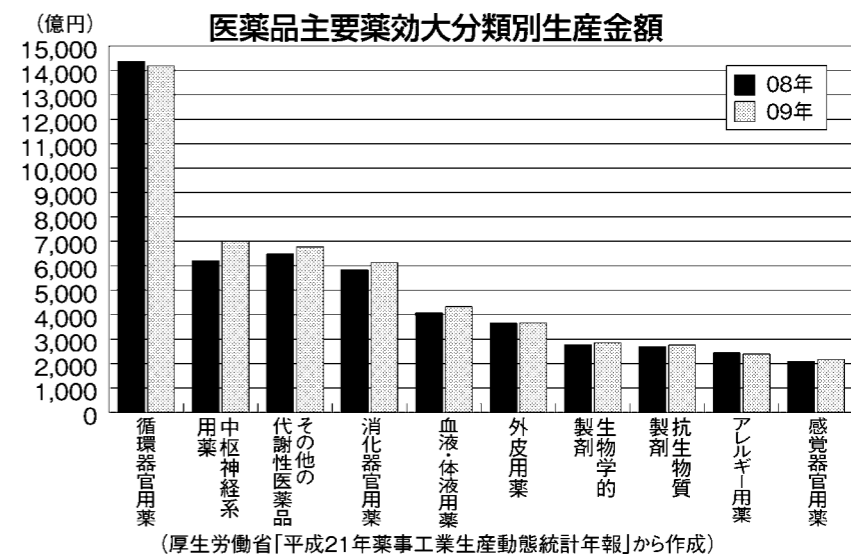
ご存じですか？いま、「子宮内膜症」は治療の選択肢が拡がり、「子宮内膜症」による月経痛などの痛みを緩和させる薬のほか、病巣に直接作用し、症状を軽減させる薬があります。発症すると、閉経まで長い期間つきあっていく「子宮内膜症」。仕事・結婚・妊娠・出産・育児など、あなたのライフステージや生活スタイルに合わせて、医師とともに最適な治療方法を選びましょう。

持田製薬では、「子宮内膜症」をはじめ「産婦人科」領域の疾患において、独自の最新薬の研究開発に真摯に取り組む。医師や患者さんに新たな治療の選択肢を提供しています。私たちはこれからも「先見的独創と研究」を掲げ、医療の発展に貢献してまいります。

持田製薬株式会社  
東京都新宿区四谷1丁目7番地  
電話(03)3358-7211(代) F160-8515

# 医薬品

## 新薬創出加算の完全・恒久実施に向け



## 製薬協 アジア各国と対話を開始

米国で販売承認される新薬の半分はバイオベンチャー企業が創製した物質となっている。現在、日本では「新薬の実質価値」と受け止められ、医薬品卸各社は対応に苦慮している状況だ。

製薬協では①科学技術政策に関する強力な司令塔機能を強化し、各省庁の科学技術予算を政府全体で統一に編成し、ライフサイエンスの重要課題に重点的に投資②早期臨床試験体制の整備、重点疾患の治療体制のネットワーク化など開発力強化と効率的な対話を推進③新薬創出に必須の国際的かつ学際的人材を養成するための仕組みについて、早急に官民で検討④医薬品に

と協力して進めており、今年3月末までは「未承認薬等開発支援センター」の取り組みも重要だ。また有識者会議から開発

さらに、製薬協ではアジア各国の製薬団体との連携に向け対話を開始。今年4月にはアジア12カ国・地域の13製薬団体に呼びかけ「第1回アジア連携会議(仮称)」を東京で開催し、民間レベルでの連携を深める予定。同会議のミッションは「革新的な医薬品をアジア各国の人々に速やかに届ける」ことであり、その達成のために解決すべき問題を共有し、改善を図っていく

まだないくすりを創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。  
世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。  
明日を変える一錠を創る。  
アステラスの、しごとです。

明日は変えられる。



www.astellas.com/jp/



よりよい薬を目指して。

一人ひとりのひたむきさが、次の新薬を生み出すチカラになる。

武田薬品工業株式会社